



お知らせ

記者発表資料

令和8年8月12日

■同時発表先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

渇水対策本部の設置について

～日野川水系、斐伊川水系で渇水調整を実施～

中国地方整備局管内では、7月8日頃の梅雨明け以降少雨の状況が継続していることにより渇水傾向となっている河川があります。

日野川水系においては、平年に比べて降水量が少ない状況が続いているため、7月21日（火）に日野川流域水利用協議会を開催し、7月24日（金）から取水制限を実施するとともに、日野川河川事務所に渇水対策支部を設置しました。

また、斐伊川水系においても、平年に比べて降水量が少ない状況が続いているため、8月5日（水）に斐伊川渇水調整協議会を開催し、8月12日（水）から渇水調整を実施するとともに、出雲河川事務所に渇水対策支部を設置しました。

このような状況のなか、8月6日に広島地方気象台が発表した中国地方の「向こう1ヶ月の天候の見通し」（※参考：気象庁ウェブサイト）では、降水量は平年に比べ同じか少ないと見込まれており、渇水が深刻化することも予想されます。

このため、国土交通省中国地方整備局では、適切な渇水対策を円滑に行うことを目的とする「中国地方整備局渇水対策本部」を8月12日（水）に設置しました。

<問い合わせ先>

中国地方整備局 河川部 河川環境課

082-221-9231（代表）：（平日・昼間）

【担当】河川部 河川環境課長 やまがた山形 こういち浩一 （内線3651）

河川部 河川環境課長補佐 みずたに水谷 かずま一馬 （内線3652）

◇現在の取水制限状況について

中国地方整備局管内の一級河川における取水制限等の状況は下記のとおりです。

【取水制限】

○日野川水系

- ・ 7月24日～7月31日まで、下記取水制限を実施。（第1次取水制限）
上水道、工業用水、農業用水 各10%
- ・ 8月1日～8月5日まで、下記取水制限を実施。（第2次取水制限）
上水道、工業用水、農業用水 各15%
- ・ 8月6日より、下記取水制限に移行。（第3次取水制限）
上水道、工業用水、農業用水 各20%

○斐伊川水系

- ・ 8月12日に下記渇水調整を開始（第1次渇水調整段階）
上島地点の確保流量 6.1m³/s（正常流量 15.2m³/sの約40%）

◇渇水調整協議会等の開催経緯

○日野川

- | | | |
|------------|---------------------|----|
| ・ 4月27日（月） | 日野川流域水利用協議会幹事会（第1回） | 開催 |
| ・ 5月18日（月） | 日野川流域水利用協議会（第1回） | 開催 |
| ・ 7月14日（火） | 日野川流域水利用協議会幹事会（第2回） | 開催 |
| ・ 7月21日（火） | 日野川流域水利用協議会（第2回） | 開催 |
| ・ 8月 5日（水） | 日野川流域水利用協議会（第3回） | 開催 |

○斐伊川

- ・ 8月 5日（水） 斐伊川渇水調整協議会 開催

◇現在の渇水対策支部設置状況

中国地方整備局管内の事務所における渇水対策支部設置状況は下記のとおりです。

- | | | |
|-----------|-------|------------|
| ○日野川河川事務所 | （日野川） | 7月24日（金）設置 |
| ○出雲河川事務所 | （斐伊川） | 8月12日（水）設置 |

◇各水系の状況

中国地方の一級河川の降雨状況及び中国地方整備局が管理しているダムの貯水状況は別紙のとおりです。

◇渇水情報について

中国地方の渇水情報については下記のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.cgr.mlit.go.jp/kasen/kassui/index.html>

※渇水対応や管内の直轄管理ダムの貯水状況について掲載しています。

～中国地方整備局河川部に渇水対策本部を設置しています～

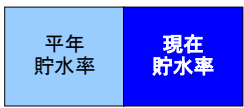


中国地方の直轄ダム利水容量貯水率状況
(令和8年8月12日 00:00時点) ※

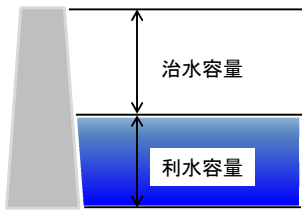
※現在貯水率は「川の防災情報」掲載値による



凡 例

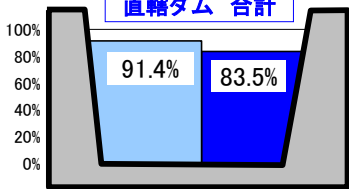


*H28～R7の平均貯水量との比

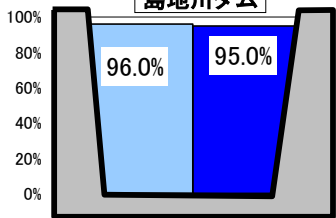


※貯水率は、上記利水容量の貯水割合を示す。

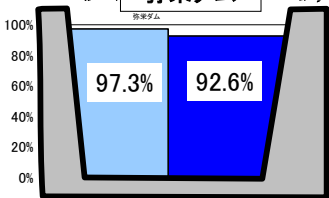
直轄ダム 合計



島地川ダム



弥栄ダム



島地川ダム



弥栄ダム

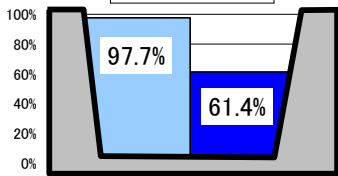
山口県

佐波川

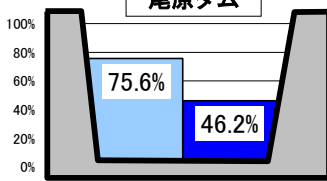
凡 例

流域界

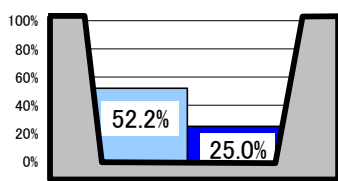
志津見ダム



尾原ダム



菅沢ダム



志津見ダム

島根県

尾原ダム

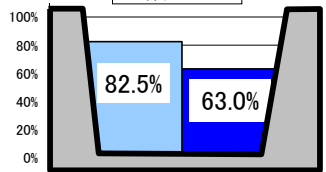
菅沢ダム

苦田ダム

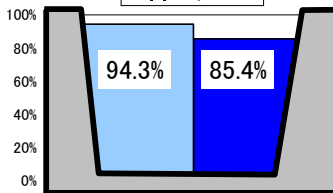
鳥取県

殿ダム

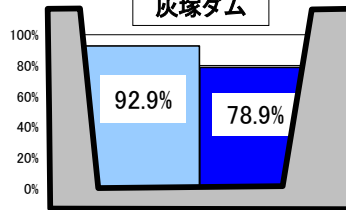
殿ダム



苦田ダム



灰塚ダム

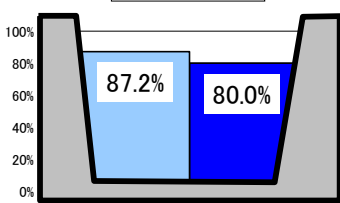


灰塚ダム

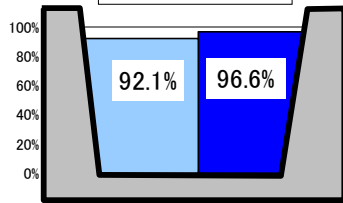
八田原ダム

広島県

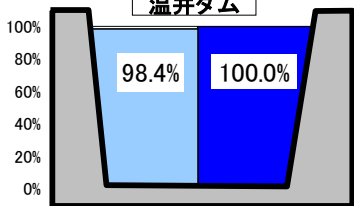
土師ダム



八田原ダム



温井ダム



温井ダム

土師ダム

江の川

神戸川

斐伊川

日野川

天神川

千代川

高梁川

旭井川

吉井川

芦田川

太田川

小瀬川

高津川

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

広島県

山口県

島根県

鳥取県

岡山県

向こう1か月の天候の見通し 中国地方（8/8～9/7）

予報のポイント

- 7月中旬以降、暖かい空気に覆われ、気温の高い状態が続いています。今後1か月程度も、暖かい空気に覆われやすいため気温の高い状態が続く見込みで、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。
- 7月から高気圧に覆われやすく、降水量の少ない状態が続いています。今後2週間程度も、高気圧に覆われやすいため少雨の状態が続く見込みで、向こう1か月の降水量は平年並か少ないでしょう。

向こう1か月の天候

- 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

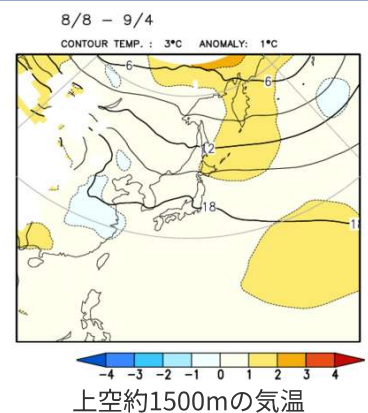
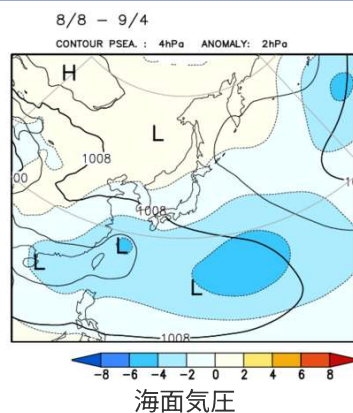
向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（向こう1か月）	降水量（向こう1か月）	日照時間（向こう1か月）
中国地方	山陰	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	山陽		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（％）です		平均気温（1か月） 低い確率（％） 50 40 30 20 10 高い確率（％） 平年並も40	降水量（1か月） 少ない確率（％） 50 40 30 20 10 多い確率（％） 平年並も40	日照時間（1か月） 少ない確率（％） 50 40 30 20 10 多い確率（％） 平年並も40

数値予報モデルによる予測結果

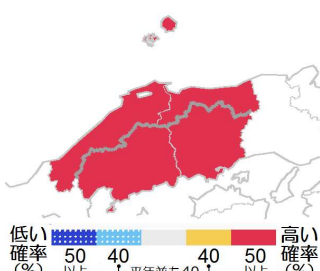
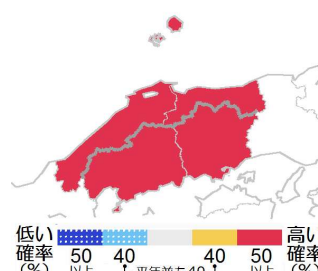
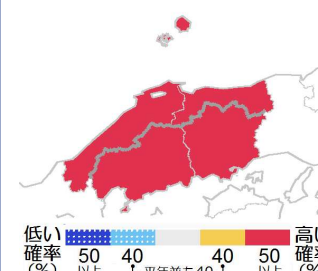
1か月平均の海面気圧（左図）は、東シナ海から日本の南で平年より低い一方、華北付近から千島近海にかけて高圧部となっていて、日本海側を中心に高気圧に覆われやすい時期があるでしょう。期間のはじめは沖縄・奄美を中心に台風第13号の影響を受けやすいでしょう。

上空約1500mの気温（右図）は、日本付近は北日本を中心に平年より高く、北・東・西日本は暖かい空気に覆われやすいでしょう。



季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

週別の天候と平均気温

		1 週目 8/8～8/14	2 週目 8/15～8/21	3～4 週目 8/22～9/4
天候		台風周辺の湿った空気の影響で、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
平均気温	中国地方	低10 並40 高50% 高い 見込み	低10 並30 高60% 高い 見込み	低10 並30 高60% 高い 見込み
	数値は予想される出現確率(%)です	平均気温(1週目) 	平均気温(2週目) 	平均気温(3～4週目) 

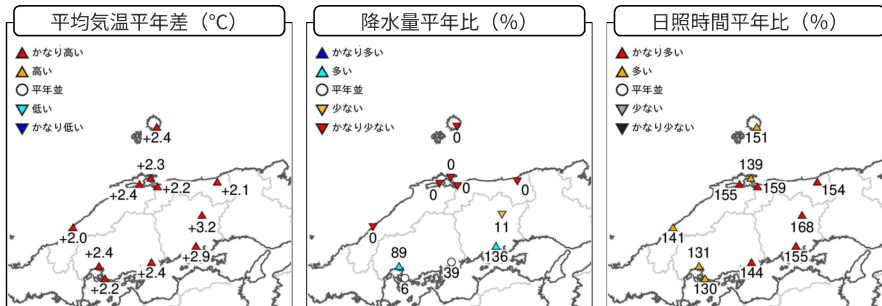
明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い(少ない)、平年並、高い(多い)」となる確率で表しています。

「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/chugoku1.html>) をご覧ください。

文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考(確率予報の解説)」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



(実況) 7/30～8/5	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
中国地方	+2.4°C (かなり高い)	26% (平年並)	148% (多い)
山陰	+2.2°C (かなり高い)	0% (かなり少ない)	150% (多い)
山陽	+2.6°C (かなり高い)	56% (平年並)	146% (かなり多い)

これらの図において、値に「J」が付く場合は元となるデータの一部に欠測等が含まれていることを示しています。

また、「x」となる場合は欠測等により、「//」となる場合は平年値がない等により、値が求められないことを示しています。

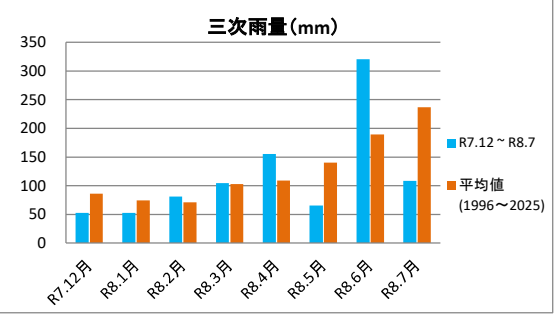
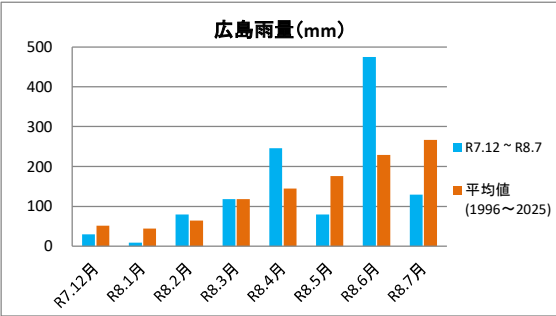
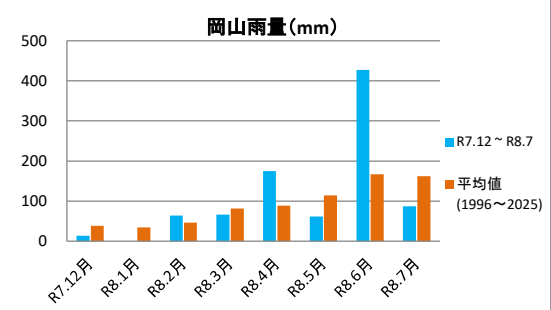
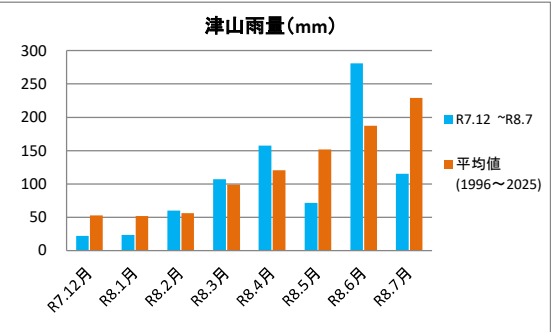
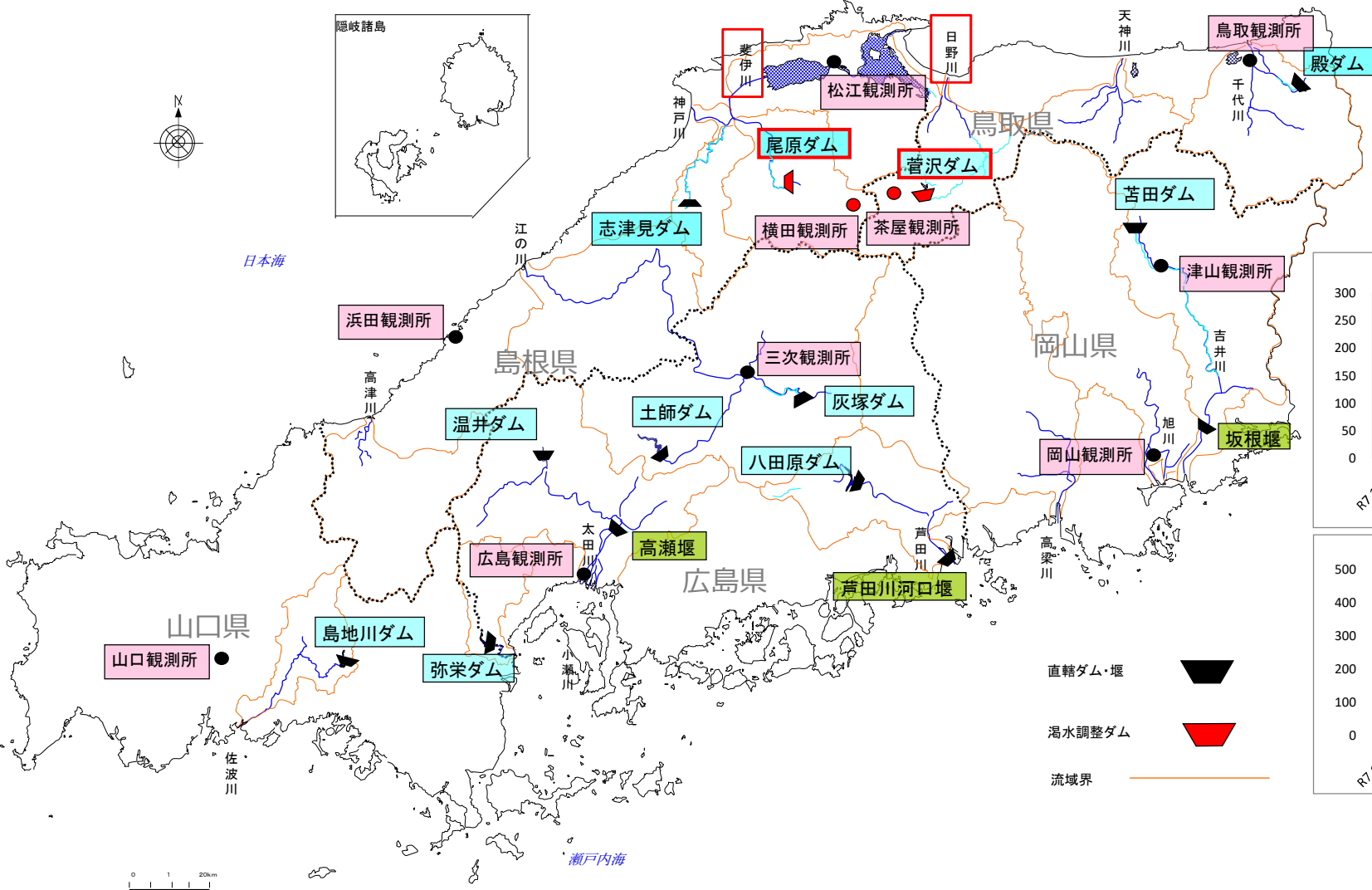
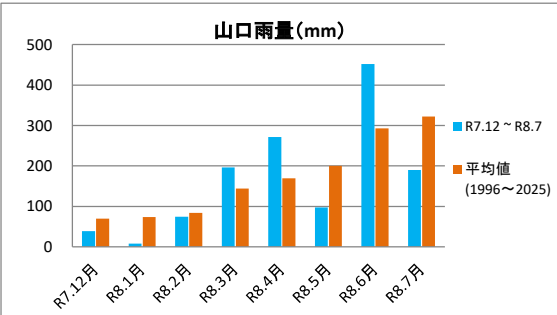
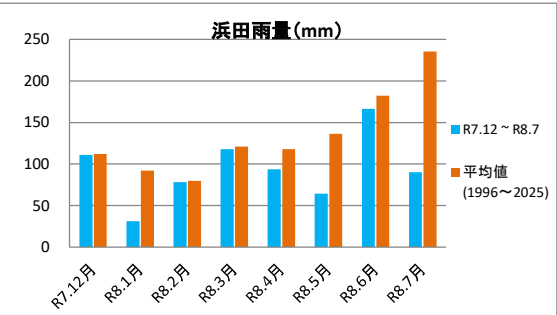
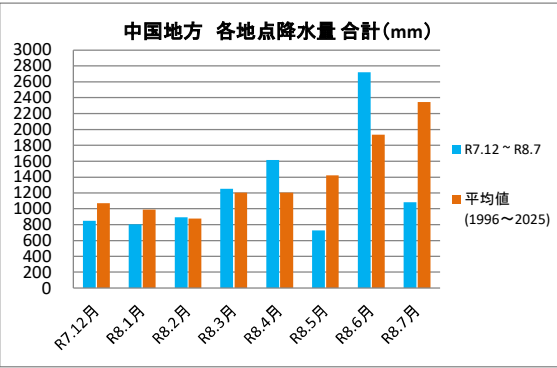
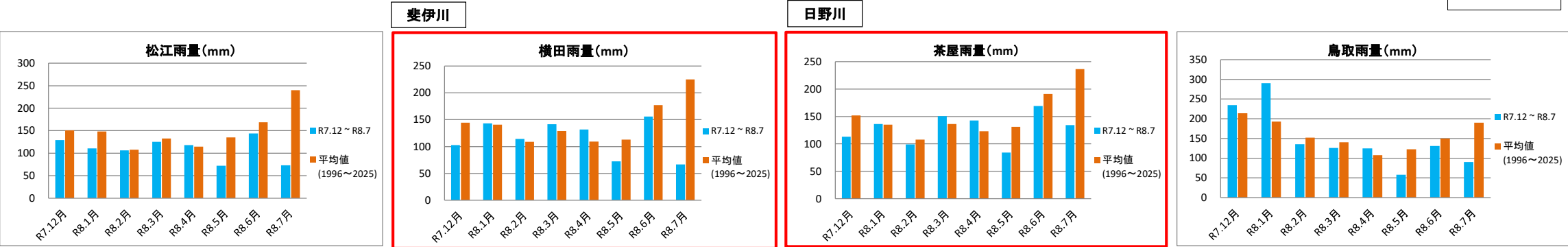
参考

確率予報の解説 (ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています)

出現確率 (低い(少ない): 平年並: 高い(多い))	解説
高い(多い) 確率が50%以上	高い(多い) 見込み
(20: 40: 40)	平年並か高い(多い) 見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40: 30: 30) (30: 40: 30) (30: 30: 40)	ほぼ平年並の見込み
(40: 40: 20)	平年並か低い(少ない) 見込み
低い(少ない) 確率が50%以上	低い(少ない) 見込み

中国地方の降雨状況(R8.7月末時点)

参考資料-1



■既往の主な渇水						参考資料-2
年 次	水系名	時期	制 限 期 間		最大取水制限率	地整本部
昭和４８年度	芦田川	夏期	昭和４８年７月	～ 昭和４８年９月	５９日間	上水３２％、工水７８％、農水７６％ 上水１０％、工水４０％ 上水５％、工水４０％
	太田川	夏期	昭和４８年７月	～ 昭和４８年９月	５２日間	
	小瀬川	夏期	昭和４８年７月	～ 昭和４８年９月	４９日間	
昭和５２年度	小瀬川	秋期	昭和５２年１０月	～ 昭和５３年１月	１１５日間	上水５％、工水５０％ －
昭和５３年度	芦田川	夏期	昭和５３年８月	～ 昭和５３年９月	５０日間	上水４０％、工水８６％ 上水１０％、工水１０％ 上水１０％、工水５５％ 工水５０％
	太田川	秋期	昭和５３年９月	～ 昭和５３年９月	１０日間	
	小瀬川	夏期	昭和５３年８月	～ 昭和５３年１０月	６２日間	
	佐波川	夏期	昭和５３年８月	～ 昭和５３年１０月	６２日間	
昭和５７年度	芦田川	夏期	昭和５７年６月	～ 昭和５７年７月	１６日間	上水１０％、工水８２％、農水５６％ 上水２０％、工水４０％ 上水５％、工水５０％ 上水２０％、工水２０％
	太田川	夏期	昭和５７年７月	～ 昭和５７年７月	９日間	
	小瀬川	夏期	昭和５７年７月	～ 昭和５７年７月	１２日間	
	吉井川	夏期	昭和５７年７月	～ 昭和５７年７月	８日間	
昭和５９年度	太田川	秋期	昭和５９年１１月	～ 昭和５９年１２月	２１日間	上水５％、工水１０％ 11/13～12/6 24日間
昭和６１年度	小瀬川	冬期	昭和６１年１２月	～ 昭和６１年１２月	１４日間	上水５％、工水４０％ －
昭和６２年度	小瀬川	冬期	昭和６３年２月	～ 昭和６３年３月	２２日間	上水５％、工水４０％ －
平成４年度	太田川	夏期	平成４年７月	～ 平成４年７月	４日間	上水１０％、工水２０％、農水１０％ 6/30～7/21 22日間
平成６年度	斐伊川	夏期	平成６年７月	～ 平成６年９月	４８日間	上水２０％、工水２０％、農水２２％ 上水３０％、工水３０％、農水７０％ 上水２０％、工水３０％、農水５０％ 上水５０％、工水７０％、農水９０％ 上水３０％、工水６８％、農水９０％ 上水２７％、工水６０％、農水６０％ 上水１０％、工水５５％ 上水２０％、工水２０％、農水２０％
	吉井川	夏期	平成６年７月	～ 平成６年９月	７１日間	
	旭川	夏期	平成６年８月	～ 平成６年９月	４５日間	
	高梁川	夏期	平成６年７月	～ 平成６年１２月	１１４日間	
	芦田川	夏期	平成６年７月	～ 平成７年５月	３００日間	
	太田川	夏期	平成６年７月	～ 平成６年１０月	９８日間	
	小瀬川	冬期	平成６年１２月	～ 平成７年５月	１４４日間	
	佐波川	秋期	平成６年９月	～ 平成７年４月	２２７日間	
平成７年度	芦田川	夏期	平成７年８月	～ 平成８年３月	２２０日間	上水１０％、工水６０％、農水５０％ －
平成８年度	芦田川	夏期	平成８年８月	～ 平成８年９月	３９日間	上水５％、工水５０％、農水５０％ －
平成１４年度	旭川	秋期	平成１４年９月	～ 平成１４年１１月	７０日間	上水１０％、工水２０％、農水３０％ 上水１０％、工水２０％、農水３０％ 上水３０％、農水４０％
	高梁川	秋期	平成１４年９月	～ 平成１４年１２月	１０２日間	
	芦田川	秋期	平成１４年１１月	～ 平成１５年３月	１０４日間	
平成１７年度	日野川	夏期	平成１７年６月	～ 平成１７年７月	２４日間	上水３５％、工水３５％、農水３５％ 上水１０％、工水１０％、農水３０％
	高梁川	夏期	平成１７年７月	～ 平成１７年７月	２日間	
平成１９年度	佐波川	冬期	平成１９年１月	～ 平成１９年４月	８９日間	上水１０％、工水１０％、農水１０％ 上水２０％、工水２０％、農水２０％ 上水３０％、工水３０％、農水３０％ 上水５％、工水５％、農水１０％ 上水５％、工水１０％
	日野川	春期	平成１９年５月	～ 平成１９年７月	４５日間	
	佐波川	秋期	平成１９年１１月	～ 平成２０年２月	８７日間	
	高梁川	冬期	平成１９年１２月	～ 平成２０年１月	２２日間	
	小瀬川	冬期	平成２０年１月	～ 平成２０年１月	２３日間	
平成２０年度	江の川	夏期	平成２０年８月	～ 平成２０年１０月	５１日間	農水７０％ 上水５％、工水１０％、農水２０％ 上水２０％、農水２０％
	高梁川	夏期	平成２０年８月	～ 平成２０年１０月	５２日間	
	芦田川	秋期	平成２０年１１月	～ 平成２１年３月	１１９日間	
平成２１年度	日野川	春期	平成２１年５月	～ 平成２１年６月	２５日間	上水２０％、工水２０％、農水２０％ 上水３０％、農水３０％
	芦田川	夏期	平成２１年６月	～ 平成２１年７月	５０日間	
平成２２年度	小瀬川	冬期	平成２２年１２月	～ 平成２３年３月	９２日間	上水５％、工水２０％ 上水３０％、工水３０％、農水３０％
	佐波川	秋期	平成２２年１０月	～ 平成２３年２月	１２３日間	
平成２３年度	芦田川	春季	平成２３年４月	～ 平成２３年５月	２９日間	上水２０％、農水２０％ －
平成２５年度	日野川	春期	平成２５年５月	～ 平成２５年６月	３５日間	上水５％、工水５％、農水２０％ 基準点確保流量７０％減 上水２０％、農水２０％
	斐伊川	春期	平成２５年５月	～ 平成２５年７月	４９日間	
	芦田川	夏期	平成２５年６月	～ 平成２５年６月	１０日間	
平成２６年度	斐伊川	夏期	平成２６年７月	～ 平成２６年８月	２５日間	基準点確保流量５０％減 －
平成２７年度	斐伊川	春季	平成２７年５月	～ 平成２７年６月	４２日間	基準点確保流量４０％減 基準点確保流量５０％減
	斐伊川	夏期	平成２７年７月	～ 平成２７年９月	３３日間	
平成２８年度	斐伊川	夏期	平成２８年７月	～ 平成２８年９月	３３日間	基準点確保流量５０％減 －
平成２９年度	斐伊川	夏期	平成２９年６月	～ 平成２９年９月	３９日間	基準点確保流量４０％減 －
令和元年度	日野川	春期	令和元年５月	～ 令和元年６月	８日間	上水１０％、工水１０％、農水１０％ 基準点確保流量４０％減 農水３０％
	斐伊川	夏期	令和元年６月	～ 令和元年９月	５０日間	
	千代川	夏期	令和元年８月	～ 令和元年１０月	４４日間	
令和２年度	斐伊川	夏期	令和２年６月	～ 令和２年６月	５日間	基準点確保流量３０％減 上水１０％、工水１０％、農水１０％
	佐波川	冬期	令和２年１２月	～ 令和３年２月	５６日間	
令和４年度	日野川	春期	令和４年５月	～ 令和４年９月	６１日間	上水２０％、工水２０％、農水２０％ 基準点確保流量４０％減 上水２０％、工水２０％、農水２０％ 上水１０％、工水３０％、農水５０％ 上水２０％、農水２０％
	斐伊川	夏期	令和４年６月	～ 令和４年７月	２０日間	
	佐波川	夏期	令和４年７月	～ 令和４年８月	５３日間	
	旭川	夏期	令和４年７月	～ 令和４年７月	１９日間	
	芦田川	冬期	令和５年３月	～ 令和５年４月	２９日間	
令和５年度	江の川	秋期	令和５年９月	～ 令和６年１月	１４５日間	農水８０％、上水１５％、ダム地点確保流量30%減 上水１０％、工水１０％、農水１０％ 上水２％、工水５％、農水２０％ 上水５％、工水１０％、農水２０％ 上水２０％、農水２０％
	佐波川	冬期	令和５年１１月	～ 令和６年２月	１００日間	
	高梁川	夏期	令和５年１１月	～ 令和６年２月	１０７日間	
	小瀬川	冬期	令和５年１２月	～ 令和６年３月	７３日間	
	芦田川	冬期	令和５年１２月	～ 令和６年３月	８８日間	
令和６年度	日野川	夏期	令和６年６月	～ 令和６年６月	１７日間	上水１０％、工水１０％、農水１０％ 基準点確保流量４０％減 基準点確保流量４０％減
	斐伊川	夏期	令和６年６月	～ 令和６年７月	２１日間	
			令和６年８月	～ 令和６年１０月	６３日間	
令和７年度	日野川	夏期	令和７年７月	～ 令和７年８月	２４日間	上水２５％、工水２５％、農水２５％ 基準点確保流量７０％減 上水２０％、河川維持流量２０％ 上水１０％、工水１０％、農水１０％
	斐伊川	夏期	令和７年７月	～ 令和７年９月	６４日間	
	江の川	冬期	令和７年１２月	～ 令和８年２月	６４日間	
	佐波川	冬期	令和８年１月	～ 令和８年４月	７３日間	
令和８年度	日野川	夏期	令和８年７月	～		上水２０％、工水２０％、農水２０％ 基準点確保流量６０％減
	斐伊川	夏期	令和８年８月	～		

※自主節水及び取水制限一時中止期間は日数に含めていません。取水制限を0時以外で開始中止した場合は制限日数にカウントしています。